

日光市広報

8月号

(通66号)

栃木県日光市中鉢石町999

日光市役所

編集 統計 広報係

印刷 (有) 神山印刷所

夏の青少年を守る運動



夏を楽しく 健康にすごそう

子どもたちの楽しい夏休みがはじまっている。この夏休みを中心に7月1日から8月31日まで、栃木県青少年問題協議会の主唱で、「夏の青少年を守る運動」が展開されている。子ども会・少年団・ボーイスカウト・青年団の活動を

もりあげたり、青少年を水難事故・交通事故から守ったり不良化・犯罪化を防ぐことを目標にしている。

(写真 キャンプ場を守る騎馬パトロール、光徳にて)



街路の薬剤撒布

市政展望

▼涼しいはずの日光でさえ、30度もある暑さ。やれ扇風機だ、ルーム・クーラーだと、テレビや新聞ではさかんに夏ば対策を伝えている。しかし要は、どうしたら夏まかせず、健康に過せるかということであろう。夏こそ、保健防疫対策を強化し、健康管理に万全をつくすべき時である。

▼「夏まけ」は、消化器系をはじめ、からだの諸機能が低下するための一般的現象で、睡眠や栄養など、その対策は、大半が個人の責任においてなされるべきである。

▼ところが、環境衛生、とくに「カ、ハエ、ネズミ」など、そ族昆虫類の撲滅対策は、個人の努力がなにより大切だが、個人だけの力では、いかんともしがたく、団体行動をする以外に手はない。

▼市では、公共の場、道路の側溝など、関係機関総動員のもとに連日消毒に当たっている。完全とはいえないゴミの集積処理も、少しでも能率をあげようと、このほどゴミ運搬の圧縮車を購入活動をはじめた。

▼こうした努力のためか、赤痢は最近めっきり少なくなった。それといれかわりに、あの恐い小児マヒが流行、大きい社会問題となっている。日光では、県下二十人の一割に当る二人の患者を出している。このため市では、県の好意で、安良沢小学校全校八百名と、全市の小学校一、二年生全員百四十名、三才以上の未就学児約三千名にワクチンの投与を終了した。あぶなといわれる年令の児童の90%はワクチンを飲んでいる。あとは各家庭での注意だけが問題。伝染病の発生を一人でも少なくする努力こそ、この夏に課せられた、市政の一大目標である。

主な記事(数字はページ)

- 1 夏の青少年を守る運動、市政展望
- 2 市政ニュース、議会記事
- 3 五行短信、小児マヒメモ、
- 4 五行政計
- 5 揭示板、今月の問題
- 6 公聴の記録、市民のためのレクリエーション案内、市民の社会科
- 7 ともしび、学園ニュース
- 8 季節の手帳、市政トピックス

日光市の人口 (7月1日現在)

世帯数	7,538	5月中の	
人口	33,174	出生・死亡	41人 13人
男	16,140	転入・転出	98人 98人
女	17,034		

日光市市民憲章

わたしたち日光市市民は
 よき風習をそだてよう
 わたしたち日光市市民は
 美しい環境をつくりましょう
 わたしたち日光市市民は
 生産の向上をはかりましょう
 わたしたち日光市市民は
 文化財の愛護をこころみしょう
 わたしたち日光市市民は
 旅行者を温かく迎へよう